

神戸市水道労働組合本局支部との交渉議事録

1. 日 時：2025 年 9 月 8 日（月）15：00～16：00

2. 場 所：水道局総合庁舎 4 階大会議室

3. 出席者：

（局）経営企画課長、技術企画課長、配水課長、給水課長、営業課長、経営企画課係長

（組合）本局支部長、本局副支部長、中央委員 2 名、他 2 名

4. 議 題：2026 年度本局支部産別要求の回答について

5. 発言内容：

■統一要求について

（局） それでは、令和 7 年 8 月にいただいた要求について、管理運営事項についてはお答えできないが、勤務労働条件に関することについて、お手元に配布させていただいた回答書にそって、順番に回答をさせていただく。

まず、「1 労働条件等に関する要求」について、年間総実労働時間 1,800 時間を実現するために、超過勤務の縮減、36 協定の遵守、年次休暇の取得促進について、積極的に労使一体となって取組んでいきたいと考えている。

令和 7 年 4 月～7 月の本局支部内の超過勤務は職員一人あたり平均月 8.8h となっており、令和 6 年度の水道局全体の平均（10.8h）と比べて少なくなっている。

また、年休取得状況については令和 7 年 7 月まで 4 か月の実績で職員一人あたり 3.7 日となっている。年休取得状況については、令和 6 年度水道局全体の平均が 18.7 日となっているため、今年度の残りの期間についても、引き続き、年次有給休暇の取得促進を図っていききたいと考えている。

また、精神的・肉体的負担が増加している職員がいる場合、事務分担の変更など、状況を把握しながら、効果的な負担軽減措置等を講じていきたい。

続いて、「3 その他職場要求」だが、被服の関係は要望については、所管課に申し伝えておく。その他、各課の要望について、各課長より回答を行う。

■職場要求について

（局） 〈別紙回答書について説明を実施〉

（組合） 洗濯機については東部の事務所を利用できると昨年度も回答頂いたが、まだその内容を知らない職員もいる。また東部の物を使わせてもらうということで気兼ねする職員もいるかもしれない。例えば 1 階の洗濯機は本局用で使用するという運用ができればより使いやすくなるかもしれないので運用面で工夫してもらえたら。

（局） 周知不足があった点はお詫びしたい。本庁部門なので泥やさびなどの汚れる状況はあまり多くはないとは思っているが、せっかくご提案頂いたので検討してみる。

（組合） 今回技術企画課と給水課からの要求だが他の課でもニーズはある。東部の洗濯機を使うという回答だが、こちらに回してもらうほど空きはあるのか、東部での洗濯機の使用頻度などの数字は把握しているのか。

（局） そういった数字は持ち合わせていない。洗濯機の使用に関して改めて周知を行い、

ニーズがどれくらいあるか、頻度はどれくらいなのかを確認し調整していきたい。

(組合) 周知と共に現在の洗濯機の設置状況も教えてほしい。また洗身設備の使い方についても改めて周知してほしい。

(組合) 異動もあるので年度替わりに周知をお願いしたい。またレイアウトについてスペースに限りがあるのは理解しているが、可能な限り対応をお願いする。

(局) スペースについての問題意識は持っている。今年度もできるところは手をつけたい。

(組合) ゲートの電動化について、手動だと乗り降りして開閉しなければいけないため、閉め忘れが生じがちである。開けっ放しが関係者以外の侵入を許す原因になりうるのでその点からもぜひ検討をお願いしたい。

(局) 費用面の問題もある。運用面での工夫も考えたい。

(組合) 休憩する場所についての要求があったが、法令上の問題は現状ないのか。

(局) 確認して回答する

(組合) 技術企画課の換気口に関して、寒さの点についての言及はあったが音の問題についてはどうか、騒音の基準は問題ないか。

(局) 明確な対応策がみつかってはいない。ただ、私個人の主観になってしまうが、席が近いもののそこまで気になるものでもなく、騒音を議論するレベルではないと考えている。

(局) 昨年度までそこで働いていたが風の音はそこまで気になるレベルではない。

(組合) 3階廊下の暑さの問題は大型プロッターを置いているので、その点も意識はしてほしい。

(組合) 配水課の打合せスペースについて、3階エレベーターホール前が候補という話だった。外部の人が出入りする場所だが話を聞かれても大丈夫なのか

(局) その点は課題である、壁を作る方法も考えたが消防設備の問題もあり、パーティションの形を検討している。その場所に設置する場合は運用面のルールを決めたい。

(組合) リモート検査の場所については何年も課題となっている。

(局) 3階のスペースには限界がある。全面的に見直さないとスペースは生まれないと考えている。

(組合) リモート検査室は会議室の前室のような場所にあるが特に支障は出ていないか。

(局) 人が通るときに声が聞こえにくいということはたまにあるようだ。防音も含めて色々考えたがとりあえず現在の形に落ち着いている。

(組合) 経営企画課の公用車の要求について、公用車担当が検討するとのことだったが、電気自動車の実現可能性はありそうか。

(局) リース期間満了時に次の車を検討するにあたって可能性はある。異なる動力源の車を持つことは災害への備えという点でメリットになりうる。一方で充電設備の設置などの課題もあるのでその辺がクリアできれば可能性はあると考えている。

(局) 以上、回答交渉を終了する。